

COSMOPOLITAN

コスモポリタン
日本版

9・20

SEPTEMBER
480YEN

ジョディ・フォスター／デミ・ムーア／シンディ・クロフォード／レオナルド・ディカプリオ

現地特派ルポ／ジャパニーズ・ニュー Yorker の可能性とシビアな現実〈厳選お店ガイドつき〉

ニューヨークで生きる、働く、暮らす。

食、水、呼吸、運動、睡眠……。毎日のこと、もっとこだわってみよう

[保存版] 生活変えたら、カラダが変わった

特集：自信のある女は美しい

揺れやすい心と上手につき合う／「私はキレイ」は魔法の呪文

“^{ブックス}BOOCSダイエット”は満足するまで食べてもOK!?!／エッセイ集・結婚すること、しないこと

東京三菱銀行で働くということ／スウェーデン・ウーマンお仕事事情／告白！私の大失恋物語

今年で8年目を迎えた「アメリカ生活110番」は、電話の持つ「匿名性」と「即時性」が最大の魅力。相談に応じるスタッフが、バイリンガルの女性なのも心強い。サービス期間は祝祭日を除く月～金曜10時～16時(米国東部標準時) ☎212-869-0110



困ったときの110番。日本語による電話相談を利用する

ビザや言葉の問題、生活習慣についてなど、外国暮らしで直面する不安やトラブルはさまざま。そんな、誰に相談するべきかわからないといった悩みには、日本語による無料電話相談で、ダイヤル・サービス・インターナショナル社の「アメリカ生活110番」というサービスがある。KDDとNTTがスポンサーとなっているこの電話サービス、相談件数は年間1万3000件を超える。なかでも20代、30代の、ニューヨーク滞在中の日本人女性から寄せられる相談で最も多いのが、ビザに関するもの。テレホン・アドバイザーの

“駆け込み寺”からビザの問題まで 初心者ニューヨーカーの心強い見方

夢だけ追っていけば、すべてOKではない……それはそうだけど、自分を試すには最高の土壌、ニューヨーク。トライ精神を持った人にはこんなバックアップだって惜しまない、フェアな街なのです。

JAPANESE NEW YORKER

津々見洋子さんにお話をうかがった。「ビザ取得に関しては、最近特に厳しくなっています。なのに、来ればなんとかなる」的な考え方があまりにも多い。もう少し具体的な目的意識を持つてこちらに来ていただきたいですね。目的がなければ、ビザが取れないのももちろん、女性が生き抜いていくことも、非常に難しいのではと思います」

質問はどんな内容でもOK。「ハウジングから恋愛、健康問題など、どんなことでもお気軽にどうぞ。孤立化を招きがちな外国生活、少しもお役に立てれば幸いです」

弁護士抜きては生活できないアメリカでは、日本語OKの弁護士も



デビッド・シンデル弁護士は、名古屋に長期在住の経験があり、日本語に堪能。直接日本語で相談に応じてくれる。詳しくはシンデル法律事務所・久留まで(日本語で) ☎212-681-0500 FAX 212-681-0567

アメリカ社会において、弁護士の存在は非常に重要なウエイトを占める。アメリカ人の多くは個人専用の弁護士を持ち、どんな些細なことでも相談をするという。しかし、日ごろそういった習慣を持たない私たちにとっては、弁護士とのやりとりを頭を抱えてしまうのも事実。特に英語に自信がなければなおさらだ。

そんな初心者ニューヨーカーにおすすめなのは、日本語で直接相談に応じてくれるアメリカ人弁護士。移民法、企業法、不動産関係を専門に扱っているというデビッド・シンデル弁護士のもとには、日本人女性からの相談が圧倒的に多いそう。

「労働条件に関する相談は、やはり多いですね。グリーンカードの申請をエサに、安い給料で思いっきり働かされているという方もいます。それから、不動産関係の相談でいらっしやる方も多い。ルームメイトが家賃を払ってくれないとか、1年契約のアパートを2カ月で出たいとか」

こちらではまず、書類証明システムに慣れてほしい、とシンデル氏。「就職にしても不動産にしても、事前に必要条件を記載した書類を作ってもらうこと。日本式ではなく、アメリカ式に頭を切り換えてください」

人材、情報を得るためにこんな会を通してネットワークの強化を



金田美智代さん
毎月「ノロ目」の日に行われる会合は、参加費25ドル。詳しくは ☎(FAX) 212-583-9284

「ニューヨークにいながら心を閉ざしている日本人が多いのは残念です」粘土を使ってオブジェをつくる、クレイクラフト・アーティストとして活躍中の金田美智代さん。渡米前タウン誌の編集者時代に得た人脈づくりのノウハウを、積極的に実践

創作活動のかたわら、月1回、人脈ネットワークづくりの会「異業種交流会(クリエイティブ・タレント・ネットワーク)」を催している。

「集まるメンバーは、フォトグラフィやフード・スタイリストなど、マスコミ関係の方の参加が多いんですが、弁護士や保険業の方とか、いろんな職業の方も遊びに来ますよ」先月行われた会合は、50名以上が集まるほどの盛況ぶりだった。

「ギブ&テイクの成立が、最大のメリット。こういう人を探している、”こんな情報が欲しい”と思っても、ひとりぼっちじゃ何もできないですよ。だからビジネスにもプライベートにも役立つ情報交換の場として、どんどん利用してほしいんです」

「掲示板での情報交換」

これはサンライズ・マートの掲示板。ルームメイト募集の貼り紙などのほか、「売ります・買います」の情報も。ここでベッドや家電など生活必需品を、安くそろえられる(Sunrise Mart/4 Stuyvesant St. New York, NY 10003 ☎212-598-3040)



「OCS NEWS」

ニューヨークで一番ポピュラーな日本人コミュニティ紙。最近流行りの話題や、さまざまなイベント紹介のほか、求人情報も掲載。サンライズ・マート、紀伊國屋、旭屋書店など、日系の店で販売(2ドル)



「ニューヨーク便利帳」

ベテラン・ニューヨーカーもご愛用。部屋や仕事探しのノウハウから、医師、レストラン、劇場の案内まで満載。サンライズ・マート(日本食料品店)、紀伊國屋(書店)などで入手可能(32ドル)



衣・食・住。最低限、生活に必要な情報は、生き抜くための必需品

頼れる知り合いがいるわけでもなく、単身ニューヨークに渡った場合、どこから情報収集を始めるか、迷うところ。簡単に手に入る、しかも日本語で手に入る情報なら、それにこしたことはない。そんなあなたの「ニューヨーカー」第一歩に役立つのは、こんなもの！